

佛教大学広報誌

B-ism

佛教大学

NO.25

B-ism

No.25

発行日
2022年(令和4年)12月20日

発行者
伊藤 真宏

編集者
広報委員会

編集・発行
佛教大学広報課

〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96
TEL 075-491-2141(代表)
www.bukkyo-u.ac.jp/

撮影場所 紫野キャンパス



「建学の碑」(知恩院三門前)



開学110周年

「佛大生」の今、昔

持続可能な大学であるために

佛教学部は今年、開学110周年を迎えた。1868年、京都市東山区の知恩院山内に開設された仏教講究の機関をルーツに、1912年、前身となる高等学院が国の専門学校令を受け、京都市左京区鹿ヶ谷で開学した。1934年には今の紫野キャンパスに移転し、1949年に新制の佛教学部がスタートした。以来、仏教精神を建学の理念とし、総合大学へ発展してきた。

110年の節目に際し、佛大生の今、昔、そして未来のあるべき姿を、本学で学んだ教員や学生はどのように考えるのか。4人に話を聞いた。

巻頭特集 | スペシャルインタビュー

2 開学110周年「佛大生」の今、昔

6 「授業参観」教員・研究紹介
仏教学部 仏教学科
細田 典明 教授

8 学生編集室の窓
佛大生記者が書く！
《佛教学部キャンパスツアー》
オープンキャンパススタッフが
伝えたい
紫野キャンパスの「今」！

10 「R・I」研究報告

12 クラブ・サークル見聞録

13 Favorite「先生のお気に入り」
保健医療技術学部 作業療法学科
中西 英一 准教授

14 輝きClose Up 活躍する学生たち

社会学部 公共政策学科
水上 象吾 准教授

卓球部
お笑いサークル「SHOWCASU」

保健医療技術学部 作業療法学科
中西 英一 准教授

15 「Listen Up」BOB訪問
ロックバンド「hannaschi」

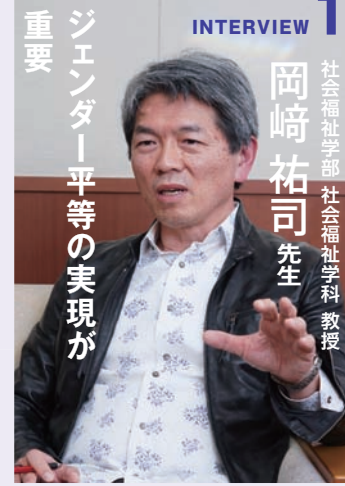
16 hot TOPICS 大学の動向

21 BOOK Information 教員著書紹介

22 B-information みんなの掲示板

INTERVIEW 1

社会福祉学部 社会福祉学科 教授
岡崎 祐司 先生



◆社会学部 社会福祉学科 1986年卒業

ジェンダー平等の実現が重要

佛大に入学して、打ち込んだことは？

高校生の時に「社会科学」に興味を持ち、社会の現状を変えていける要素がある「福祉」を学びたいと考えました。佛大の『大学案内』に「社会科学」に「福祉を学ぶ」と書いてあり、「ここなら」と決めました。でも、学生時代に頑張ったのは演劇。入部するつもりはなかった劇団紫での活動がどんどん楽しくなり、団長になってしまった。自ら脚本を書き、演出し、出演していました(笑)。

大学で印象に残っている学びは？

1985年の履修要項に当時の水谷幸正学長が書かれた「読書人になれ」「世俗の価値観に振り回されるな」



「大学とは人生の真実を求める大人(た いじん)の学校である」「心の友をつくれ」「自主的に研究学習せよ」の五つの提言です。学生時代の大切な言葉で、今も読み返していますよ。

佛大がさらに発展していくために必要なことは？

男女平等、ジェンダー平等をすすめることです。企業の論理に支配され、家庭を犠牲にして仕事を全てを費やすといった戦後日本社会の「常識」は、もはや通用しないのです。大学からそのことを社会に発信できるメッセージを持たなければ、大学は存続できなと思います。佛大自身も問われていると思います。

10年後、50年後の佛大はどんな姿であってほしいですか？

通学課程とともに、



学びたい社会人が学べるオープンラーニングセンターや通信教育課程も充実してほしい。オンラインと対面授業を融合し発展させた多様な学びの方法をつくり、佛大が有する「知」をより多くの人に提供し続ける大学であってほしいと考ええています。



佛教大学のあゆみ

- 明治元年(1868)◆知恩院山内に仏教講究の機関を設置
- 明治34年(1901)◆洛東如意ヶ嶽の山麓、鹿ヶ谷に校舎を新築・移転
- 明治45年(1912)◆宗教大学より独立。分校を廃止し専門学校令による「高等学院」を設置<開学>
- 大正2年(1913)◆「佛教専門学校」と改称
- 昭和9年(1934)◆京都市北区紫野北花ノ坊町(現在佛教大学紫野校地)に移転、増築
- 昭和24年(1949)◆学制改革に伴い、新制「佛教大学」を設立し、仏教学部を開設
- 昭和28年(1953)◆通信教育課程を開設
- 昭和40年(1965)◆仏教学部を文学部に改組
- 昭和42年(1967)◆社会学部を設置、大学院を開設
- 昭和51年(1976)◆佛教大学付属幼稚園を設置
- 昭和52年(1977)◆大学院博士後期課程を開設
別科(仏教専修)を開設
- 昭和59年(1984)◆佛教大学四条センターを開設
- 平成元年(1989)◆教育学部を設置
- 平成3年(1991)◆佛教大学総合研究所を開設
- 平成9年(1997)◆成徳常照館(図書館)竣工
- 平成11年(1999)◆通信制大学院(全国で最初の正規課程)を開設
- 平成15年(2003)◆通信制大学院に博士後期課程を開設
アジア宗教文化情報研究所(宗教文化ミュージアムの前身)開設
- 平成16年(2004)◆社会福祉学部を設置
- 平成18年(2006)◆保健医療技術学部を設置
- 平成22年(2010)◆仏教学部、歴史学部を設置
- 平成23年(2011)◆二条キャンパス開校
- 平成26年(2014)◆法然仏教学研究センターを開設
- 平成28年(2016)◆礼拝堂(水谷幸正記念館)竣工
- 令和3年(2021)◆佛教大学オープンラーニングセンター(O.L.C.)開設(四条センター改称)



鷹陵校舎正門(1934年頃)



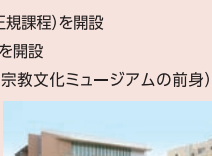
通信スクーリング風景



本館全景(1967年)



旧図書館のち9号館



成徳常照館



二条キャンパス(2011年)



B-ism

礼拝堂竣工・紫野キャンパス整備事業終了(2016年)

—— 佛大の好きなところは？
学生と先生方の距離感がいい。ベタッとし過ぎないけど、突き放さない。タイミングよく助言して、教員みんなで学生を育てる良き伝統があります。この伝統は今も歴史学部を受け継がれています。「ぼらばらでいっしょ」の良い点を次世代につなげたいですね。
—— 佛大がさらに発展していくために必要なことは？
一つの主義や思想に偏るのではなく、いろいろなことを吸収できるスポンジをもった人材を育成することが必要だと思います。
—— 10年後、50年後の佛大はどんな姿であってほしいですか？
卒業生にとって「心のふるさと」であってほしい。ふとした時、しんどくなった時に頭に浮かび、いつでも戻れる母校であってほしいですね。



INTERVIEW 2
歴史学部 歴史文化学科 教授
齊藤利彦先生

「ぼらばらでいっしょ」の伝統を次世代に

—— 佛大に入ったきっかけは？
戦国時代などを描いた時代小説などに親しむ歴史好きだったので、日本史が学べる史学科を志望しました。
—— 学生時代、熱中したことは？
どちらかという「平凡」な学生でした(笑)。クラブにも入らず、兵庫県の自宅から真面目に通学していました。熱中したことと言えば、大阪の梅田や京都市内の映画館でジャンルを問わずたくさん映画を観たことでしょうか。
—— 印象に残っている授業の学びは？
恩師竹下喜久男先生の授業も印象的でしたが、史学科の水野恭一郎先生は一枚の古文書の紙焼き資料を配って授業をしてくださいました。単なる古文書の解説にとまらず、目の前に中世の室町時代の武家社会が現れてくるような面白い授業でした。水野先生のような授業を目指したい、というも思っています。

◆文学部 史学科 1995年卒業

この分野は10年も経てばガラリと状況が変わります。学び直す必要が出て来ると思っています。知り合いの先生も佛大で再び学んで、新しく免許を取得されました。いつでも学び直しができる「教育に強い佛大」といいたいと思います。「佛大で学び直しました」と胸を張って言える大学であり続けてほしいです。

—— 10年後、50年後の佛大はどんな姿であってほしいですか？
私は情報科学分野の教育職に進もうとしています。



INTERVIEW 3
社会学部 現代社会学科 4年生
井出掌さん

「教育に強い佛大」に

—— 佛大に入ったきっかけは？
情報を人々に伝えるメディアに関心がありました。メディアについて学べる学部を探し、入学を決めました。
—— この4年間、打ち込んだことは？
課外活動に熱中しました。部活動は放送局に入り、ラジオ放送「佛ラジオ」に出たり、東京五輪で金メダルを獲得した中田ドラゴンズの太田雄大選手(2011年社会学部現代社会学科卒)の大学で行われた金メダル報告会の司会も担当しました。放送局でいろんな経験を、人に伝えるスキルを磨くことができました。
—— 印象に残っている学びは？
「教育相談の理論及び方法」という授業です。相手と話す時は着席する位置によって印象が変わることなど、面白い内容ばかりでした。教育現場だけでなく、日常生活でも役立つような内容も多く、楽しみにしていた授業の一つです。
—— 佛大がさらに発展していくために必要なことは？
学生自治会の活動をする学生が少なくなっています。よりよい学生生活を送るために必要な組織ですから、一人でも多くの学生に参加してもらって、絶えることなく活動を続けてほしいです。



性も十分に活躍できると思っています。女性の理学療法士を多く輩出して、男女関係ない職業になるよう導いてほしいと思います。

—— 10年後、50年後の佛大はどんな姿であってほしいですか？
リハビリテーションを専門とする資格には理学療法士、作業療法士のほかに、言語聴覚士(ST)という重要な職業があります。理学療法学科、作業療法学科に加え、「言語聴覚学科」も作ってほしいです。三つの資格を目指す学生が交流できるようななり、さらに幅広く学べると思います。



INTERVIEW 4
保健医療技術学部 理学療法学科 4年生
池野稚菜さん

医療系の学科をさらに増やして

—— 佛大に入ったきっかけは？
理学療法士の勉強ができる大学を探していた時、「京都の佛教大学は有名だよ」と先生に教えてもらい、入学を決めました。
—— この4年間、打ち込んだことは？
理学療法士を目指して勉強に打ち込んだのはもちろんですが、百貨店での接客アルバイトも頑張りました。百貨店ならではの独特の言葉遣いに戸惑いましたが多くの人と接する経験を重ね、柔らかい雰囲気をつくって、こやかに話すことが身に付きました。理学療法士の仕事にも生かせると思っています。
—— 印象に残っている学びは？
「触診」の授業です。初めて他人の筋肉に触れた時は「うわっ」と驚きの声を上げてしまったこともありましたが、上半身から下半身の筋肉をすべて覚えようと友だちと筋肉を触り合って、必死に勉強したことが一番印象深いです。
—— 佛大がさらに発展していくために必要なことは？
理学療法士は力仕事が多いので、ごつても男性が多くなっています。体格の差はあっても、女性も十分に活躍できると思っています。



今日の授業

「プレゼンで大切なことは」

秋学期3回目の授業に12人の学生が出席した。2～4人ずつ4グループに分かれ、細田先生が前回プレゼンテーションした内容を討議し、11月初旬に設定された学生各自の中間発表に向けた準備につなげていた。

細田先生は前回の自身のプレゼンを振り返りながら「言いたいことが多くなって。どうしてもいっぱい詰め込んでしまうクセがある。それを防ぐためには、資料はできるだけはしょって『今回はこのことだけを言おう』ということを整理して中心に置いていくことが大事です」と助言した。

さらに4グループの学生たちに、プレゼンで良かった点、悪かった点などを15分間話し合い、各グループの代表が発表する



ように求めた。各グループの代表は「祭祀の写真画像を入れたことが分かりやすかった」「文字の配色も見る側に分かりやすいよう工夫することが大切」「画像のない文章だけのスライドは分かりづらいから、話す内容自体にインパクトがあることが重要だと思う」などと発言した。

授業を受ける井口朋穂さんは「特別支援学校の先生を目指しています。古代インドの浄土思想と仏教を考えることによって、視野を広げていくことができたと思うので、教育での実践にもつなげていきたい」と話す。澤田友輝さんは「細田先生はプレゼンの後のフィードバックで適切なフォローしてくれるのがいいなと思いました。画像の使い方などはとても参考になります。高校の世界史の教師を目指しているので、もっと多角的な視点を養い、インド哲学を学んだ成果を生かしたい」と話した。

B-ism

2022
December

卒論作成に向け
グループ討議できっかけづくり

興味を引き出し、自主性促す

仏教学部 仏教学科 教授

細田 典明

細田 典明（ほそだ のりあき）1957年東京都生まれ。北海道大学文学部卒業後、大学院文学研究科東洋哲学専攻博士課程修了。北海道大学文学部助手、助教授、教授を経て2019年4月、佛教学部教授。専門はインド哲学、仏教学。主な論文に「漢訳『維摩詰經』散逸「如意足相」のサンスクリット資料」（佛教学部論集、2020年）、共著に「上座仏教事典」（めこん、2016年）、「仏教の事典」（朝倉書店、2014年）などがある。



なった影響は教育的にもインドとの交流の面でも大きい」と話し、学生たちに「現地に行けなかった分、内側で考えよう。本を読み、映画も観て考察を深めよう」と呼びかけている。授業の端々で、本を読み込むことの大切さを強調し、卒論作成につながる文献を探る機会も多く設けている。学生が主体的に探究するよう促し、授業でも先生が一方的に参考図書について本の題名を挙げて推薦するのではなく、あくまで学生自身が興味を持って探し出した本を読み込むことを重視している。難解な部分

を取りあげる際は「このところ、分かりにくくなりますから」とさりげなく事前に注意すべき所を学生たちに提示する。細田先生は「この授業は、卒論作成に向けた、さまざまなきっかけづくりという位置づけです。学生たちはとても熱心に取り組んでいます。もっと高め合うだけでなく積極的に参加することを意識してほしい」と力説する。

さらに京都の佛教学で学ぶ意義と魅力について「海外から日本と言えはまらず京都。そんな魅力ある京都にある、佛教学という名称の大学。佛教学の中の仏教学科ですからインパクトはあると思います。学生の皆さんにはここで仏教を学んだ視点を卒業後もぜひ生かしてほしい」と話す。最後に学生にこんなメッセージを送る。「仏教以前のものいろいろな紹介して深掘りしていきますので、思考停止しないで、自分で感じて、考えてください。そして、頭の中で整えたことを具体的に自分の言葉で伝えようとしていくことが大事です。そういう作業がそれぞれのオリジナリティーを磨きます」

学生生活の学問の集大成となるのが卒業論文の作成である。仏教学科では卒業論文テーマの研究に向けて、まだ入学間もない基礎段階から卒論を意識したさまざまなカリキュラムを設定している。専門知識や研究方法をどのように深めていくべきかを学生たち自身に考えてもらうためだ。「卒業準備ゼミ2」は、3年生から履修する必修科目で、細田典明先生のクラスでは、次年に迫った卒論の研究テーマの確定や、さまざまな研究テーマについて議論する力を養うほか、卒論作成に欠かせない文献を収集し、より深い学問的探究につなげることを目指している。

仏教の源流ともいえるインド哲学を教える細田先生は、この日の授業では仏教以前の古くは紀元前7世紀にさかのぼるインド思想ウパニシャッドを取り上げ、特徴と仏教との関連のポイントを………

影響を与えているのかについても課題として挙げた。プレゼンテーションで設定される発表時間は1人15分。プラス質問時間5分を標準としている。細田先生は「ゼミは発言してなんぼです。聞いてなんぼじゃない。発言していくことで、それぞれの言葉を整えていく。それがゼミです」と学生たちに説く。「発表は制限時間をオーバーしがちなので、使うスライドは6枚から10枚くらいに抑えて内容を整理しておくのが一番いい」と助言する。さらに授業では自分自身の課題に取り組むだけではなく、他の学生の研究成果についても積極的に議論することによって、刺激し合って高め合うことも目指す。そのことによって、学生が興味や関心のあるテーマについて、具体的に発表の中身を充実させていくことができるようになり、卒論作成にも生かすことができるからである。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が起きる以前はインドを訪ねる現地研修を行っていた。しかし、直近3年間は残念ながらできなかった。細田先生は「インドでの研修に行けなく





佛大生記者が書く!

佛大 BUTSUDAI なろう NOW!

佛敎大学キャンパスツアー

「今」!

オープンキャンパススタッフは、オープンキャンパスの際にキャンパスツアーをはじめとするイベントの運営を担っている学生スタッフのことです。今回、現役の学生スタッフが、キャンパスツアーっぽく、紫野キャンパスの「今」を紹介していきます。一方で、昔から変わらない場所や名物も紹介しますので、懐かしさも感じていただけたらと思います。

メンバーの一言

社会福祉学部
社会福祉学科 4年生
西川 直輝

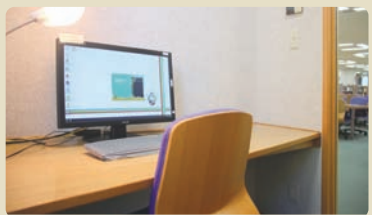


私は、1年生の夏からオープンキャンパスやキャンパス見学会に携わっています。キャンパスツアーでは、単に建物を紹介するだけではなく、自分自身の大学生活の話も交え、来場者に、より大学生活の具体的なイメージを持ってもらうことを目指しています。そのため、学生スタッフ一人ひとり、話す内容が少しずつ違います。それぞれが個性を発揮しながら、ツアーを進めています。

Viewpoint-2

成徳常照館(図書館)

約110万冊の本と1万3000タイトルの雑誌が所蔵されています。2階から4階の各階には「研究個室」と呼ばれる鍵付きの部屋があります(申請制)。期末試験の時期になると、パソコンが空いていなくて困ったという経験がある学生は多いはず。実はサンサーラ(パソコン利用スペース)だけではなく、ここ研究個室にもパソコンが設置されています。意外と知られていないので空いていることが多いです。



なうな掌話 その二十八

「キャンパスツアーだけじゃない! オープンキャンパススタッフの業務」
学生スタッフの業務はキャンパスツアーだけではなく、オープンキャンパス開催時の受付や誘導・案内はもちろん、来場者の質問に1対1で答える個別相談ブース対応、時には大人数の前で話すことも。さらには会場設営から後片付けまでと盛りだくさん。どんな時も「来場者の方に、佛敎大学の魅力をたくさん知って帰ってもらいたい」という気持ちは変わりません。



Viewpoint-1

5号館

地下には食堂、1階には紫野キャンパス内で一番大きな教室があり、なんとその収容人数は512人です。また、地下の食堂は2021年春にリニューアルし、

その際にメニューも一新されました。現在の定番メニューは「ふじかつ」と呼ばれるトンカツやジャンボチキンカツ、オムライスです。ちなみにオムライスの卵は、注文が入ってから一つ一つ調理しているそうです。



ふじかつ¥480
ジャンボチキンカツも同値段



限定メニューだった「ハントムライス」¥480
ノーマルのオムライスは¥400



5-101 教室 先生目線だとこんな感じ

Viewpoint-5

礼拝堂(水谷幸正記念館)

「れいはいどう」と読みがちですが、読み方は「らいはいどう」です。礼拝という言葉は、神や仏に祈りを捧げるという意味があり、どちらの読み方も間違いではありません。ただ、仏教だけは「らいはい」という読み方をしています。佛大生なら知っておきたい知識の一つですね。



Viewpoint-6

かつては...

キャンパスマップの建物名を見て「なんで1の次5まで数字が飛ぶのだろう?」と思いませんか? 実は、かつて2号館も3号館も4号館も、そして9号館もありました。現在は新しい1号館や、左大字山が綺麗に見える屋上庭園に生まれ変わっています。



編集後記

今回このページを担当するにあたって、改めてキャンパス内の隅から隅まで歩き回りました。また、過去の『大学案内』を見せていただくことがあり、佛敎大学の昔にも、少しだけ詳しくなったような気がします。今後は、このページを担当した経験を生かして、より話の内容に厚みがあるキャンパスツアーにしていきたいです。最後にはなりましたが、今回作成するにあたって資料提供やアドバイスをくださった入学課の皆様、写真撮影に協力してくれた岡崎くんや船越さん、ご協力ありがとうございました。この場を借りて御礼申し上げます。

B-ism

2022 December

Viewpoint-4

1号館

地下には食堂とセブン・イレブン、2階には学生をサポートする部署が集まるオフィス、教室は3階から5階にあります。



授業が終わり、疲れて横になっていた学生が、はっと気づいた頃には夜21時前、退校時間ギリギリだったというエピソードも

1号館には、パソコンや理科家庭科、図工など、実習が出来る教室が集まっています。また4階には、キャンパス内で唯一横になることができる「畳の間」があります。

Viewpoint-3

鷹陵館

2階はメインホールと呼ばれる体育館、地下に体育室、1階には喫茶スペースがあります。1階の喫茶で提供されている「チョコレートパフェや「ベーコントマトバスタ」は昔から続く定番メニューで、今も変わらず学生に愛されています。



チョコレートパフェ¥250
スイーツは他にもパンケーキやプリンなどがあります

「緑の豊かさを実感できる都市環境追求」 人口減少社会の課題克服へ

社会学部 公共政策学科 准教授 水上 象吾



日本は人口減少社会を迎え、空き地や空き家の増加が課題になっている。こうした空きスペースは雑草が茂り、ゴミが不法投棄されるなど負の側面を指摘されることが多い。だが、少し工夫を凝らすことで私たちの暮らしに潤いをもたらす空間に変えることができるのではないかと。水上象吾先生は、人間の目に映る緑の割合を示す「緑視率」という指標を使って、その可能性を探っている。

数千枚の写真から緑の割合を算出／居住環境を考える指標に

都市の緑の豊かさを表す指標に「緑被率」がある。上空から街を眺めた場合の、森林や草地など緑の面積を示すもので、30%以上あれば良好とされる。都市計画などに利用される基本的なデータだが、住民がどの程度緑の豊かさを実感しているかを必ずしも表していない。

「たとえば大塚邸に立派な庭園があっても、高い塀に囲まれていれば付近の住民はそれを享受できません。逆に街路樹や植え込みがあれば、私たちは立体的に多くの緑を目にし、心理的な潤いや安らぎを感じます。緑の質を表す指標として1970年ごろから緑視率が注目されてきました」

しかし緑被率は航空写真や衛星写真をもとに緑の面積を調べればよいが、緑視率となるとそうはいかない。都市生活で緑に対する満足度に影響するのは歩いて5〜10分圏内の環境だということ。そのエリアを一定の間隔たとえば10メートルで、人間の目の高さで写真を撮る必要がある。

「かつて緑視率といえば数枚の写真をもとにした印象評価的な研究が多かったのですが、私が学生のころにデジタルカメラが登場し、数千枚の写真が低コストで撮れるようになりました。その画像一枚一枚から住宅の庭木や街路樹などをチェックする。とても手間のかかる作業です」

だが地道に街を歩くことで分かることもある。緑視率が低い路地では、それを補うように鉢植えの数が増えるなどの現象だ。得られた精緻なデータと住民アンケートによる意識調査などの相関関係から、「鉢植えがゼロになる、つまり住環境として満足しうる緑視率の理論値」の算出も試みた。こうした客観データは、今後、緑化を進めるうえで一つの目安になりうるのだ。

水上先生が都市環境学の道に進んだのは東京近郊のベッドタウン・町田市で生まれ育ったことが影響している。昆虫採集に熱中し、田んぼでザリガニを採って遊ぶ自然好きな少年だったが、近くの山が削られ住宅造成地が変わっていく様子を目の当たりにした。「都市に暮らしながら、自然とどう共生していけばいいのか」。漠然とした意識が芽生えた。

究を目指した。しかし、「森林を研究するのなら信州大学の学生にかなわない。都市に住む自分ができる研究はなんだろう」と自問自答し、思いついたのが「名所江戸百景」と「新東京百景」を比較した都市環境の研究だ。

江戸百景は浮世絵師・歌川広重(1797-1858)が江戸末期に描いた名所絵。新東京百景は1982年に東京都が公募により都内の景勝地100カ所を選んだもので、絵画も発表された。「広重が活躍したころの江戸では緑はありふれたものでした。名所絵には隅田川の橋などの人工物や、人々にぎわう町並みを描いた



水上 象吾(みずかみ しょうご)
東京学芸大学卒業、東京都立大学大学院修了。慶應義塾大学大学院特別研究助教を経て、2011年から佛教大学社会学部公共政策学科講師。2014年から現職。研究テーマは、自然希求意識を基調とした都市における自然の評価、自然享受を誘発する視覚環境条件の解明。主な論文に「路地における鉢植えの緑の設置状況と居住者意識」(『環境情報科学学術研究論文集』、2013年)、「都市の居住地域における空き地の効果と地域の共有領域との関係-京都市中心市街地の住民意識に基づく分析-」(『地域学研究』、2015年)、「都市住宅地域の二ホンヤモリに対する住民意識-身近な自然とのふれあいに関する考察-」(『地域学研究』、2022年)、「都市郊外の居住環境における緑視率と住民による住居での花の装飾行動との関係」(『ランドスケープ研究』、2014年)など。主な著書に「水と緑の計画学-新しい都市・地域の姿を求めて」(京都大学学術出版会、2010年)など。

ものが多く。昭和の東京は高層ビルが立ち並ぶ人工都市に変わってしまった。そこで選ばれた百景には、明治神宮の森など自然を描いたものが多い。ビルを描いても街路樹のきれいなところが選ばれています。自然が希少になるにつれ緑への欲求が強まったのではないかと。仮説を検証するため新旧の名所絵にマス目を描いた透明パネルを重ね、どれだけが緑だったかを調べた。その結果、新東京百景の方が緑の割合が高いことを数値として示すことができた。「江戸百景でやっていたことを、今は町並みの写真でやっている。研究はつながっているんですね」

現在、京都市の住宅地で緑視率や空き地の実態、住民意識などを調査。蓄積したデータをもとに「みんなとは違った視点を環境政策に提供したい」と話す。たとえば空き地・空き家対策として、「そこを市民農園などに開放すればよい」という考えがある。しかしそれが理想的な計画であっても、所有権などさまざまな難題が横たわる。一方で、ちょっとした工夫を加えれば現状のままでも住民の緑に対する欲求を満たせる場合がある。



それを説明するのに「鴨川の飛び石」を持ち出した。「鴨川で石伝いに川を渡りながら水と触れあって遊びますね。私たちは川岸で飛び石を見ていただけで、実際に遊んでいるような気分になりません。今日は流れが速いから渡れるのかな、などと無意識に考えている。実際に触れなくても、イメージの世界で自然と接触しているのです」

現代の大都市では広い緑地を新たに確保することは難しい。だから街路樹を植えたり、生垣を整えたり、路地に鉢植えを置いて緑への欲求を補う。これもイメージの世界による代償で、ケートによる意識調査などとの相関関係から、「鉢植えがゼロになる、つまり住環境として満足しうる緑視率の理論値」の算出も試みた。こうした客観データは、今後、緑化を進めるうえで一つの目安になりうるのだ。

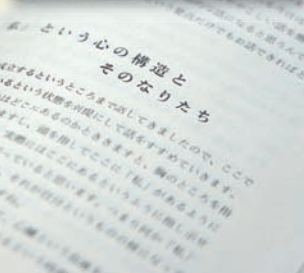
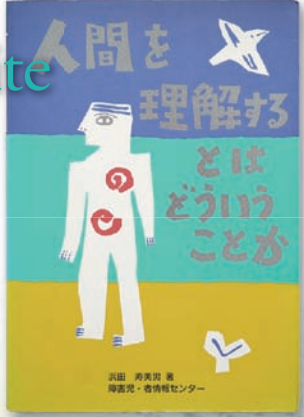


中西 英一(なかにし えいいち)

1969年京都市生まれ。神戸大学医療技術短期大学部作業療法学科卒業。神戸大学大学院医学系研究科修士課程修了。修士(保健学)。兵庫県姫路市の民間精神科病院のリハビリテーション部門に勤務後、藍野大学医療保健学部作業療法学科准教授を経て2020年4月から現職。ライフサイエンス/リハビリテーション科学専攻。研究課題は精神障害者に対するスティグマ除去のプログラム開発、精神障害者に対する作業療法治療理論。著書に「地べたから考える精神科作業療法」(CBR, 2021年)、共著書に「知覚に根ざしたリハビリテーション:実践と理論」(CBR, 2017年)、「障害受容からの自由:あなたのあるがままに」(CBR, 2015年)、「リハビリテーションのための人間発達学 第2版」(メディカルプレス, 2014年)など。大阪府茨木市総合保健福祉審議会障害者施策推進分科会専門部会委員。

先生のお気に入り 「本」

第二十三回
保健医療技術学部 作業療法学科 准教授
中西 英一 先生の巻



人間を理解するために、自分の当たり前を疑う。原点回帰の一冊

新聞書評、週刊読書人、SNSなどをチェックしては、ジャンルを問わず興味を引く本を購入し、読んでいます。本棚にはこれから読む本の待機コーナーを作っています。様々な読書体験の中で一冊をあげるとしたら、浜田寿美男先生の『人間を理解するとはどういうことか』(1996年)です。8年ほど前、SNSで紹介されているのを見つけ、ネット通販の古本で入手しました。通読して、精神障害者に対する作業療法を研究するものとして目を開かされました。子どもの発達研究で著名な浜田先生ですが、この本では、自分の物差しで相手を判断することの危うさ、共同・共有し合う世界をもつことの大切さなど、「人の見方」についてわかりやすく述べておられます。

この本から学問的理解が時として強者からの理解に偏ることがあり、自分の現実を当たり前として発想しがちだが、当たり前を疑うことからはじめることが大切だと思いました。そんな浜田先生の言葉の数々に共鳴し、病院勤務時代、親しいドクターから「弱者とされる人を支えることを生業にしているのだから、どれだけお返しができるか」を肝に銘じるよう諭されたいと思ひ出します。

医療や社会福祉に携わる人には特に役立つはずと、出品されていた数冊を買い占め、知人に贈ったり学生に薦めたりしています。今でも読み返しては「障害があるなしにかかわらず対等であるためには」という立ち位置を再確認するバイブルです。

最近、私の研究室では研究室にきた学生とディスカッションすることがあります。先日にも学生たちと雑談から死生観についてのディスカッションへと発展し、豊かに考えることができる有意義な時間として実践中です。このような取り組みは、中島らもの誰も疎外せず受容する懐の深さや、みづらじゅんの社会で埋もれているモノ・コトを発掘するユニークな視点。また、高校生のときに観た寺山修司の映画『田園に死す』での短歌のその挑戦的な表現力に影響を受けているのかもしれない。通底するのは、「常識にとらわれない。人を排除しない」。そう思うと、サブカル好きの素地を浜田先生が理論立てて学術的に解き明かしてくれました(笑)。



卓球部



試合こそ最長の経験！仲間とともに成長を続ける

社会学部現代社会学科4年生
小林 達尚さん
文学部日本学4年生
高山 唯さん

卓球部は半世紀以上の歴史があります。男子18人、女子13人が一緒に仲良く練習に励んでいます。2022年度関西学生卓球連盟秋季リーグでは男子、女子ともに2部に所属。男女ともそれぞれのチームの良さを生かし、揃って1部昇格を目標としています。



男子は春季リーグ戦で創部以来初の1部リーグ昇格を果たしました。しかし、秋季リーグでは8位に終わり、残念ながら2部に戻っています。男子は春季リーグ戦で創部以来初の1部リーグ昇格を果たしました。しかし、秋季リーグでは8位に終わり、残念ながら2部に戻っています。



お笑いサークル「SHOWCASE」



「もっと面白い」を目指して笑いの世界に挑戦

社会学部現代社会学科4年生
遠藤 浩貴さん

「SHOWCASE」は漫才やコント、ピン芸などお笑いをやりたい人が集まるサークルで、メンバーは現在37人。ほとんどがコンビを組んで漫才をしており、少数ながら音響・照明スタッフも所属しています。プロの芸人を目指す人も在籍しています。メンバーは、サークル全体で面白くしようという気持ちの持ち主たちで、日々、笑いに対して真剣に向き合っています。周囲を楽しませることに一生懸命な、楽しいけれど真面目な人々の集まりです。



ライブはほぼ毎月1回、学内で行うほか、地域のイベントや他大学との合同ライブなどに出演します。学内ライブの特徴は、お客さんが優しく温かいこと。共通の話題が多いので、い



Hello!!

クラブ・サークル見聞録

彼は

「やさしい監督」「楽しいメンバー」「こだわりの活動内容や伝統」など、佛教学部のクラブ、サークルといった課外活動団体の彼は(あれこれ)を部員が自ら紹介、語ってくれます。

ろいろ共感して笑ってくれるし、イベント前に呼び込みをするのが気軽にできてくれます。それに比べると学外ライブはとても厳しいです。昨年はM1グランプリに全組エントリーしましたが、全員1回戦で敗退。しかしそれによって、度胸がきました。重苦しい空気の中で舞台上上がり、ネタが滑っても台本を忘れても最後までやり切る。私は今、就職活動中ですが、こういう経験を積んだおかげで面接担当の方と緊張せずコミュニケーションできています。

私は子どもの頃から人前で話すのが苦手でしたが、漫才を始めてから苦手意識がなくなりました。人は笑ってもらう、褒めてもらうことで、自分に自信がつかないと感じています。今は1学年下の後輩と「エアカン40℃」というコンビ名でコントと漫才をやっています。気をつけているのは「誰も傷つけない、優しい楽しさ」。これからお客さんがみんな明るかになれるような笑いを目指したいです。



歴史学部 歴史文化学科 3年生
宮本 隆太さん

将来は「生徒と一緒に楽しく作り上げる授業」を！

京都で生まれ育ち、幼い頃から神社仏閣を身近に感じていた宮本さん。小学生のとき、歴史学習漫画『日本の歴史』シリーズにはまり、図書館で片っ端から借りて読みあさった。なかでも近世史に魅了され、「約260年続いた江戸時代は、どの將軍の代も波乱曲折の出来事が盛りだくさんで面白いですね」。推しは、大政奉還の舞台となった二条城。そんな京都の歴史遺産のフィールドワークができること知り、佛教学の歴史文化学科に進学した。入学当時から、研究テーマは祇園祭にしようと考えていたという。

コロナ禍で想定していたフィールドワークがままならない中、延期になっていた綾傘鉾の正使を務めることが決定。山鉾巡行参加という、またとない究極のフィールドワークが実現した。「これを機に山鉾について調べていると、個性豊かな35基それぞれに表された意匠の由来がとても興味深かった。その中から『傘鉾』に絞り、卒業論文のテーマにしました。今後は棒振り囃子（綾傘鉾は大きな傘と棒振り囃子の行列をなすのが特徴）に参加することも検討中だという。

卒業後の希望進路は「社会科の高校教師一択です」と明快だ。高3のときの担任の先生が、どんな生徒とも分け隔てなく接し、受験時もマンツーマンで熱心にサポートしてくれた。かと思えば、授業中に雑言を繰り出すクセの強さもあり、「こんな生徒目線の先生になりたい」と目標になった。「気軽に話せる存在でありたいです。授業も、教壇に立つ側の一方通行ではなく、生徒が主体的に参加できる形がいいな。目指す教師像を胸に、書類提出のために教育実習先を訪問する直前のスーツ姿での取材となった。



中京・下京区の各町に伝わる山鉾が四条通から河原町通を經、御池通まで巡行する山鉾巡行は、祇園祭の大きな見どころの一つ。巡行がくじ通りに行われているかを確認するくじ改めは、くじ札入りの文箱を奉行役の京都市長に差し出し、通行の許しが得られると山鉾に扇子を広げて合図を送る。一つひとつの所作が決まるたびに観衆から拍手が沸き起こる重要な役だ。一連の所作のうち最も大変だったのが、「解いた文箱の紐を巻き戻すところ。遠心力を使って一気にやらないと中途半端になります。きれいに巻き戻せたときは、よっしゃー！と心の中で叫んでいました（笑）」。



hananashi (ハナナシ)
ナカニシヒロキ(ドラム) 【写真左】1996年京都府生まれ。2019年、佛教学部教育学部教育学科卒業▼みねっち。(ベース) 【写真右】1995年大阪府生まれ。2019年、佛教学部教育学部教育学科卒業▼木村健人(ボーカル) 【写真中央】1998年和歌山県生まれ。2020年、佛教学部文学部日本文学科卒業。2019年に初のミニアルバム『ありふれた生活の中に』をリリース。2022年には初のフルアルバム『ato』を発売し、全国23カ所『hananashi ato release tour "after & trace"』を開催。
★ホームページ <https://sites.google.com/view/hananashi/home>

と一緒に軽音楽部に入部した。

軽音楽部はコピーバンドで演奏を競うコンペが伝統で、ナカニシさんは「揉まれて競い合い、練習しなかったら置いていかれる。部内には自然とうまくなる、そんな雰囲気がありました」と振り返る。ナカニシさんとみねっちさんは、部内のコピーバンドではなく、学外でバンドを組んでオリジナル曲を演奏してみたいという思いからバンド結成を考えた。「軽音の外でバンドやりたいと考えた時、1学年下のキムケン(木村さん)がギター弾けて歌えるなあ」と思い出し、誘いました」と言い、木村さんは「とても上手な先輩として憧れていた2人に誘われてすごくうれしかった」と笑顔で語る。

そしてナカニシさんの作った曲を京都市のライブハウスで初めて演奏した。店長が聴いてくれて「いいやん、センスあるから続けてな」と評価してもらえたのがうれしかった」とナカニシさん。

学生時代を振り返って、ナカニシさんは「先生になろうと思っていたのを、他にやりたいことができて諦めたけれど、今はめっちゃめっちゃ楽しく悔いはありません。やりたいことをやれば応援してくれる人も増えて意外となんとかかな」と語る。木村さんは「前は自分のことが好きではなかったけれど、大学で個性ある友だちに出会って自分のことも好きになれました。いろんな人と出会ってほしい」と学生にエールを送る。みねっちさんも「教育を学んで人の気持ちを考えるようになる、教育学を勉強したことが役に立っている。意欲的に学び、どんどん吸収してほしい」と話した。



翼、(@na283be)

どこか懐かしい楽曲で人気 軽音楽部出身のロックバンド 「hananashi」 初のフルアルバム発売、 全国ツアーも展開

佛教学部軽音楽部出身の卒業生3人によるロックバンド「hananashi」が2022年3月に初のフルアルバム『ato』を全国発売し注目を集めている。3人は在学中だった2019年春に結成。「華がない」と自ら命名したバンド名と裏腹に、熱いライブとどこか懐かしい楽曲が評判を呼び、ファンの輪が全国に広がっている。3人は10月中旬、軽音楽部の部室を訪れ「これからも京都にこだわった活動を続けたい」と語った。

「揉まれて競い合う」佛大軽音で切磋琢磨

ナカニシさんは高校入学祝いに買ってもらったギターで作曲を始め、みねっちさんはロック好きな家庭に育ち音楽に関心があった。木村さんはJ・POP好きで大学に入ってきた友だち



翼、(@na283be)

心にグッとくるサウンド

当初は京都のライブハウスから活動を始め、徐々に大阪でも演奏を続ける。熱いライブパフォーマンスと心にグッとくるサウンドが受け、ファンも増えてきた。「ファンがついてきたと実感できたのは結成後1年くらいかな」と言う3人は、2022年、全国ツアーも展開し2カ月で23カ所を回った。

ナカニシさんは「順風満帆ではないけど、前より力がついてきたと感じています。見に来てくれる全員に感謝し、来てよかったと思ってもらえる演奏をしたい」と語り、木村さんとみねっちさんも「心に残る演奏をしたい」「1回目の演奏を大切にしたい」と話す。

来年4月で開設70年を迎える佛教大学通信教育課程

生涯学習機構長 教育学部 教育学科
小林 隆 教授

佛教大学通信教育課程は来年4月、開設70年を迎えます。開設以来、さまざまな学びのニーズに応え、約4万人の卒業生を送り出してきました。今後は、どのような役割を担うのでしょうか。同課程を担当する生涯学習機構の小林隆機構長に聞きました。

■関西で初の通信教育課程

本学の通信教育課程は1953年4月、関西の大学で初めて開設されました。

「当時は、大学に行きたくても家庭の事情などで通学できない環境にいる学生がたくさんいました。そうした学生にも、仏教精神に基づいた高いレベルの学問を学べる機会を与えることが教育の機会均等であるという思いが、通信教育課程の開設につながりました。」



「時間が経ち、大学に行きたくても家庭の事情などで通学できない環境にいる学生が増え、通信教育課程のニーズは変化しました。現在は、キャリアアップや教員免許状・資格の取得を目的とするほか、生涯にわたって学び続けるために、入学する学生が多くなっています。」

「キャリアアップや教員免許状・資格の取得が目的の学生が多いのは、文（英米・中国）、教育、社会、社会福祉の4学部ですね。本学では全国最多の19種の教員免許状、10種の資格が取得可能です。資格には博物館学芸員や浄土宗教師、図書館司書などが含まれます。教員を志す学生には、既に社会でさまざまな経験を積んでいる方がいます。「京都府警を定年退職後に入学し中学校の教員免許状を取得した方や、子育てを終え小学校の教員免許状を取得したお母さんもいます。学校の先生も多様性があった方がいい。その多様性を担保するため、通信教育課程は一定の役割を果たしていると思います」一方、仏教、文（日文）、

歴史の3学部は「教養を深める目的で入学する40〜70代の方が目立ちます。現代社会は非常に不透明です。人生の指針を求めて来られる方もたくさんいるのではないのでしょうか。大学院で学び続ける方もいらっしゃいます」

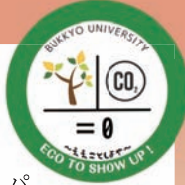
本学は、京都に立地していることも大きな強みです。「仏教、文学、歴史は京都が本場。京都に特化し、深く研究している教員から学べることは、他の大学にはない大きなアドバンテージであると言えます」

■進むオンライン化

新型コロナウイルス感染症の流行前から、通信教育課程のオンライン化構想は進んでいました。レポート課題の作成・提出と科目の最終試験の受験は、インターネットがつながる環境ならどこからでも可能になっていました。「コロナ禍でオンラインのスクーリングも取り入れ、オンライン化が一気に進みました。学生のニーズも高いことから、学びが深まるような工夫を加えて今後も続けます」

ただ、オンライン一辺倒にはせず、希望する学生のために状況に応じて対面のスクーリングも残す考えです。

【ECO TO SHOW UP! ~ええことしよや~】 エコキャンパスの実現にむけて



1 本学は、2050年カーボンニュートラル実現を目指す。指し、「佛教大学エコキャンパスの基本方針」のもと、学生と教職員が一体となって活動に取り組んでいます。今後、環境啓発を目的とした講演会の実施など、エコキャンパスの実現にむけた様々な活動を続けていきます。

カーボンニュートラル実現を目指した佛教大学エコキャンパスの基本方針

(一部抜粋)

地球の平均気温は産業革命以後約1℃上昇したと推定されており、このまま何も対策をとらなければ、海面上昇や異常気象による甚大な災害の頻発化の可能性が指摘されています。

「仏教精神」を建学の理念とし、世界文化の向上と人類福祉の増進を使命として教育研究活動に邁進してきた佛教大学は、このような地球規模の課題に対して積極的に取り組み、2050年カーボンニュートラル実現を目指します。

キャンパス緑化活動

緑化を目指し、プランターで植物を育てています。今後は、規模を拡大し、キャンパスの省エネ化に貢献すべく「緑のカーテン」の実現を目指します。



海洋ゴミ・河川ゴミを活用したアクセサリ作成ワークショップ



回収したプラスチックごみを洗浄・加工し、オリジナルアクセサリに生まれ変わらせるワークショップを紫野・二条両キャンパスにおいて開催しました。鷹陵祭にも出店し、ワークショップのほか、作成したアクセサリの販売を行いました。



マイ箸作成ワークショップ

11月11日、割り箸の使用量を減らしてゴミの削減や環境啓発のため、繰り返し使えるマイ箸づくりのワークショップを実施しました。また、食堂等でマイ箸を持参した方への値引きを期間限定で実施し、マイ箸活用の普及と環境意識向上を目指します。



KBS京都「KYOTO SDGs」キャンペーンに参画

2 本学は、キャンパスを置く京都からSDGsを発信するKBS京都の「KYOTO SDGs」キャンペーンに参画しています。伊藤学長と学生が出演する「佛教大学×SDGs」のCMが放映中です。ロングVer.は「佛教大学公式YouTubeチャンネル」で公開しています。

B-ism

2022 December

佛教大学の通信教育なら
自分のリズムで
効率的に学べる。



佛教大学通信教育課程

入学説明会・公開講演会実施予定! 詳しくは、P.23へ

通信教育課程には全国から多様な学生が集まり、スクーリングで顔を合わせて交流することは学生にとって大きな楽しみでした。本学の特長の一つに、通学課程の教員が通信教育課程も担当し、質の高い教育を提供していることが挙げられます。 「今後は、オンデマンド教材を共通化したり学生間の交流を図るなど、いわゆる『三通融合』を考えています。多様な学生を抱える通信教育課程こそ学びの最先端を走り、ノウハウを通学課程に還元すべきだと思います。これからも『いつでも、どこでも、だれでも』をキャッチフレーズに、さまざまな学びのニーズに応え、また学びの形を模索していきます」

木村光選手 福岡ソフトバンクホークスから 育成ドラフト指名!

3

10月20日のプロ野球ドラフト会議において、硬式野球部の木村光選手(社会学部公共政策学科4年生)が福岡ソフトバンクホークスから育成ドラフト3位指名を受けました。

球団の指名挨拶時、木村選手は「まずは支配下を勝ち取って、チームに貢献できるように頑張っていきたい。」と抱負を語り、「先輩である中日ドラゴンズの大野雄大選手(2011年社会学部現代社会学科卒)が目標」と話していました。木村選手頑張ってください!



大垣書店 & Caféオープン!

5

11月28日、鹿浜館1階の大垣書店にカフェがオープンしました。ソファ席や、コンセントの差込口が設置されるなど、居心地のいい空間になっています。カフェメニューには、学生の意見も反映され、ハンバーガーを中心にパスタやカレー、スムージーなどがあり、モーニングの提供もあります。



礼拝堂 本尊阿弥陀如来像 遷座100年記念法要を実施

6

11月5日、礼拝堂(水谷幸正記念館)の本尊「阿弥陀如来像」遷座100年を記念して、報恩感謝の法要を学生が中心となって行いました。本尊は、1923年に左京区の正定院から、当時の仏教専門学校に貸与され、1936年に同校に寄贈、以来100年にわたり、多くの学生や教職員を見守ってきました。



「第56回鷹陵祭(おうりょうさい)」開催

4

11月3日〜5日、第56回となる学園祭、鷹陵祭を開催しました。今年のテーマは、「勇鷹邁進(ゆうおうまいしん)」。目的・目標にむかって勇ましく、わかめもふらず前進することを意味とする「勇往邁進」にちなみ、ウィズコロナの状況において新しい学園祭を作りあげたいという思いが込められています。



Open Research Weeks 2022開催

7

11月1日〜30日、「Open Research Weeks 2022」一年に一度の大公開! 佛大の研究見ていて「!」を開催しました。 本学の研究推進機構が、研究成果や活動成果をポスター展示とWEBサイトで紹介し、今年も佛大附属図書館蔵『洛中洛外図屏風』(複製品)の展示も行いました。




「第13回佛敎大学ホームカミングデー」開催

8

11月5日、佛敎大学での懐かしい日々を同窓生に思い返していただく「ホームカミングデー」を開催しました。3年ぶりの対面開催となり、各学部各学科の企画のほか、全国各地の同窓会支部より提供いただいた名産品が当たるお楽しみ抽選会などが行われ、思い出のつまったキャンパスで、久々の再会を喜ぶ同窓生の笑顔があふれていました。



人はなぜ神話(ミトス)を語るのか
拡大する世界と(地)の物語



共編著 / 清川祥恵(文学部 講師)
分担執筆 / 斎藤英喜(歴史学部 教授)
文学通信
2022年8月
定価(税込)3,080円

季刊文科 89



分担執筆 / 坂井健(文学部 教授)
鳥影社
2022年8月
定価(税込)1,650円


BOOK Information

タイトル
著者
出版社
出版日
価格

本


本学の教員による
刊行物をご紹介します。

シリーズ生活構造の社会学2
社会の変容と暮らしの再生




分担執筆 / 作田誠一郎(社会学部 教授)
学文社
2022年9月
定価(税込)3,300円

シリーズ学級経営1
学級経営の理論と方法



監修・編著 / 田中耕治(教育学部 客員教授)
ミネルヴァ書房
2022年10月
定価(税込)2,860円

今日からできる理科授業ICT活用



共編著 / 平田豊誠(教育学部 准教授)
講談社サイエンティフィック
2022年9月
定価(税込)2,640円

こだわり抜くバランス練習



分担執筆 / 石井光昭(保健医療技術学部 教授)
文光堂
2022年7月
定価(税込)5,940円

MY Voice, My Life
届け！社会的養護当事者の語り




共著 / 長瀬正子(社会福祉学部 准教授)
全国社会福祉協議会
2022年8月
定価(税込)1,870円

人口減少社会の地域経営政策




分担執筆 / 原田徹(社会学部 講師)
晃洋書房
2022年7月
定価(税込)3,080円

社会福祉施設事業所のBCP2
—学ぶ教訓！活かす実践！
動くBCPを創る—



共著 / 後藤至功(専門職キャリア
サポートセンター実習指導講師)
CLC出版
2022年7月
定価(税込)3,960円

毘沙門天信仰とその伝播
—アジア各地における展開—



分担執筆 / 中島小乃美(保健医療技術
学部 教授)、熊谷貴史(宗教文化ミュー
ジウム学芸員)
起心書房
2022年12月
定価(税込)14,960円

「ちびっこひろば」3年ぶりの復活! 9



「わんデイちびっこひろば」は、二条駅かいはいのまちづくりの取り組みのひとつで、本学も2015年から参加しています。コロナ禍により中止となっていました。11月6日、二条キャンパスで、「ふつだいちびっこひろば」を開催しました。社会連携センターのプロジェクトメンバーや作業療法学科の学生が中心となって、親子に楽しんでもらえるよう、工作や魚釣り、ミニボッチャ、絵本コーナーでの読みきかせなどを企画しました。楽しそうに遊ぶ子どもたちをみた学生は、「念願のちびっこひろばを開催できて嬉しい」と語っていました。

強化指定スポーツ 10
(硬式野球部・陸上競技部女子中長距離部門)




硬式野球部は、京滋大学野球秋季リーグ戦で惜しくも優勝を逃し、全国大会出場は叶いませんでした。陸上競技部女子中長距離部門は、関西学生対校女子駅伝大会において3位となり、全日本大学女子駅伝へ5年連続21回目の出場を決めました。10月30日、仙台市にて開催された全日本大学女子駅伝では、2時間12分6秒、総合15位で襷をつなぎました。現在は、12月30日に開催される全日本大学女子選抜駅伝(富士山女子駅伝)にむけて気持ちを新たに練習しています。2023年も引き続き、皆様からのご声援をよろしくお願ひします。




「京都市ふるさと納税」を活用した学生支援

京都市の寄付金活用事業の一環として、京都市へのふるさと納税の寄付金の使い道に「佛光大学と協働！」を指定いただくと、ふるさと納税額の一部が本学に補助金として交付され、本学学生の社会貢献活動の原資として活用することが可能になります。ぜひ本学への使い道指定をお願いします。詳しくは、京都市ホームページをご覧ください。




通信教育に関するお知らせ 2023年度前期 通信教育課程 入学説明会

全国各地で開催します。多数のご来場をお待ちしております。

開催日	開催時間	開催地	開催会場	種別※	開催日	開催時間	開催地	開催会場	種別※
1月28日(土)	11:00~16:00	東京	新宿エルタワー30階 サンスカイルーム	合同	2月18日(土)	11:00~16:00	札幌	TKPガーデンシティ PREMIUM札幌大通5階	合同
1月29日(日)	11:00~16:00	名古屋	名古屋ATビル 2階 名古屋サンスカイルーム	合同	2月18日(土)	11:00~16:00	福岡	エルガーラ 8階大ホール	合同
2月 4日(土)	11:00~16:00	横浜	横浜新都市ビル(そごう) 9階横浜新都市ホール	合同	2月19日(日)	11:00~16:00	東京	新宿エルタワー30階 サンスカイルーム	合同
2月 5日(日)	11:00~16:00	大阪	梅田スカイビル タワー ウエスト10階アウラホール	合同	2月26日(日)	10:00~16:00	京都	佛敎大学二条キャンパス	単独
2月11日(土)	11:00~16:00	大阪	マイドームおおさか1階 展示ホールA	合同	3月 4日(土)	10:00~16:00	大阪	梅田センタービル16階	単独
2月12日(日)	11:00~16:00	名古屋	名古屋ATビル 2階 名古屋サンスカイルーム	合同	3月11日(土)	10:00~16:00	京都	佛敎大学二条キャンパス	単独

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止となる場合があります。

※種別について 単 独：本学独自の入学説明会です。事前予約制にて個別相談をお受けします。

合 同：私立大学通信教育協会主催の合同入学説明会です。事前予約制にて個別相談をお受けします。

通信教育課程 講演会

日程	開催時間	会場	講師	テーマ(仮題)
2023年 3月5日(日)	13:00~14:30	●大阪・グランフロント大阪 北館タワーC8階 ●オンライン(YouTubeLive) (※同時開催)	原 清治 佛敎大学副学長・教育学部教授 佐藤和順 佛敎大学教育学部教授・佛敎大 学附属幼稚園園長	佛敎大学通信教育課程70周年記念 —これからの幼児教育とは—



※事前申込制。通信教育課程ホームページをご覧ください。

お問い合わせ：生涯学習部

研究活動

「研究活動報 manako」をご存じですか？



本学ホームページにて「研究活動報 manako」と題して、本学教員の研究活動を発信しています。是非ご覧ください。



オープンラーニングセンター(O.L.C.)

公開講座受講生募集中！半期 12,000 円で 250 以上の講座が受講し放題！

オープンラーニングセンター(O.L.C.)は、対面とオンラインを融合させた新たな講義スタイルで、11カテゴリと幅広いラインナップの講座を年間500以上開講しています。また、いずれの受講形態にも1か月間の「見逃し配信」が付き、ライフスタイルに合わせた受講が可能です。O.L.C.で、あなたの「学び」の扉を開きませんか。



お問い合わせ先：オープンラーニングセンター



宗教文化ミュージアム

イベントカレンダー(2023年1月~3月) 2023年4月以降のスケジュールは、2023年3月下旬頃にホームページに掲載予定です。

宗教文化に関する有形・無形文化財の調査・資料収集および保存・公開、宗教文化情報の高度利用化などを行い、その成果を広く公開しています。

開館時間 10:00~17:30(※入館は17:00まで)

入館料 無料 休館日 ホームページ等でご確認ください

お問い合わせ先 宗教文化ミュージアム

〒616-8306 京都市右京区嵯峨広沢西裏町5-26
TEL:075(873)3115 FAX:075(873)3121



日時	内容
1月10日(火)~1月31日(火)	平常展示「祈りと祀り、そして暮らし—宗教文化研究への誘い—」 ※日曜日休館
1月22日(日) 13:30~17:00	第47回シアター公演「祝福芸 万歳~安城の三河万歳~」 <要事前申込>
2月中旬~3月中旬	企画展「中国古銭(仮題)」 ※日曜日・祝日休館
2月中旬 14:00~17:00	学術シンポジウム「嵯峨野をめぐる地理写真(仮題)」 <要事前申込>

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、内容変更や開催中止となる場合があります。最新の情報は当ミュージアムのホームページをご覧ください。

B-ism

2022
December

今号の巻頭は、今昔の佛大生に佛大での思い出、佛大について語っていただきました。卒業生である先生方の次々としてくる学生時代のエピソードに驚きと笑いがとまりませんでした。在学生の2人は、コロナ禍で大学生活を送ることになりましたが、そのなかでも、友人と交流し、今しかない学生生活を楽しんでいる姿が印象的でした。いつの時代も、大学で過ごす数年間はキラキラと輝いた時間だと感じ、ずっとお話を聞いていた楽しい取材でした。

佛敎大学広報課



B-information

みんなの掲示板

2023年 主な行事予定

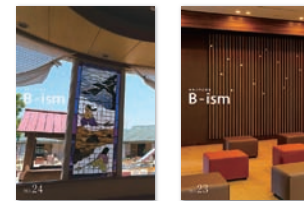
Date 4 / 1 (sat.) 令和5年度入学宣誓式	Date 3 / 25 (sat.) 前期学位記・卒業・修了証書授与式(通信教育課程)	Date 3 / 18 (sat.) 学位記・卒業・修了証書授与式(通学課程3月卒業・修了)	Date 3 / 6 (mon.) 一般選抜(B日程)	Date 2 / 1 (wed.)・2 (thu.)・3 (fri.) 一般選抜(A日程)(3科目型)	Date 1 / 29 (sun.) 一般選抜(A日程)(2科目型)	Date 1 / 10 (tue.) 始講式
------------------------------------	---	--	-----------------------------------	---	--	------------------------------

佛敎大学 公式SNS

公式 Facebook
アカウント名: bukkyo.univ

公式 Twitter
アカウント名: @bukkyo_univ

公式 Instagram
アカウント名: bukkyouniversity



《アドレス》
https://www.bukkyo-u.ac.jp/about/activity/publicity/
トップページ ▶▶▶ 大学案内 ▶▶▶ 大学広報

『B-ism』のバックナンバーが見られます
当誌『B-ism』は、佛敎大学広報課が発行する広報誌です。佛敎大学の「人・教育・研究」などをより多くの方々に知っていただく目的で、佛敎大学の魅力を伝えるべくさまざまな企画をお届けしています。これまで発行された『B-ism』は本学ホームページからも閲覧できます。

読者プレゼントのお知らせ

アンケートにご協力いただいた方の中から、抽選で佛敎大学オリジナルグッズをプレゼントいたします。以下の応募フォームよりご応募ください。

《応募フォーム》
https://www.bukkyo-u.ac.jp/about/activity/publicity/form/b-ism25.html

※応募締切：2023年2月20日
※当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

(1) 御朱印帳(紫色) 5名
(2) 「ぶったん」スクイーズ 8名
(3) 佛敎大学 開学110周年記念 マスキングテープ・ステッカー 10名

入試に関するお知らせ 2023年度佛敎大学入学試験日程

試験日	出願期間	試験会場
一般選抜(A日程)		
<2科目型>1月29日(日)	WEB出願	京都(本学)
<3科目型>2月1日(水)・2日(木)・3日(金)	12月23日(金)~1月16日(月)	京都(本学)・東京・金沢・名古屋・米原・福知山・大阪・神戸・奈良・和歌山・米子・広島・高松・福岡
一般選抜(B日程)		
3月6日(月)	WEB出願 2月10日(金)~2月22日(水)	京都(本学)・名古屋・彦根・大阪・神戸・岡山
大学入学共通テスト利用選抜		
前期	◎大学入学共通テスト 1月6日(金)~1月27日(金)	※個別学力検査は実施しません
後期	1月14日(土)・15日(日)	WEB出願 2月10日(金)~2月28日(火) ※個別学力検査は実施しません

※大学院、編入学、社会人1年次等の入試について、詳しくは本学ホームページ「入試情報」をご確認ください。佛敎大学入試情報サイト「FIND! WEB」では、入試やオープンキャンパスなどの最新情報をお届けしています。



お問い合わせ：入学部